

事務局通信

「JASTE31 大会案内」
【1 ページ】

第 31 回 日本熱帯生態学会年次大会案内(オンライン大会)

学会会長: 神崎 護

大会実行委員長: 奥田 敏統

大会実行委員会: 山田 俊弘, 保坂 哲朗, 中林 雅

LINC Biz 担当: 中村 亮介

託児支援担当: 四方 篝, 佐々木 綾子

発表賞担当: 米田 令仁

主催: 日本熱帯生態学会

連携: 東南アジア学会, 日本アフリカ学会, 日本サンゴ礁学会, 日本タイ学会, 日本泥炭地学会, 日本熱帯農業学会, 日本マングローブ学会, 日本島嶼学会

日時: 2021 年 6 月 25 日(金) 評議会

6 月 26 日(土) 一般発表セッション, 総会
吉良賞授賞式・講演

6 月 27 日(日) 一般発表セッション, 公開シンポジウム
本大会では懇親会は予定しておりません。

会場: Zoom と LINC Biz を利用したオンライン大会です。口頭発表や総会などでは主に Zoom のルーム1とルーム 2 を使用します。Zoom では、このほかにも常時 10 室ほどのブレイクアウトルームを開いておく予定ですので、発表を行っている部屋(主にルーム 1 とルーム 2)以外、発表者とのディスカッションや研究仲間との歓談などにご自由にお使い頂けます。ブレイクアウトルームへのお誘いなど、特定の方とのコミュニケーションには Zoom のチャットで個人あてにメッセージを送ることが可能です。

参加費:

大会参加費: 一般 6,000 円/学生 3,000 円

大会参加登録締切は 6 月 23 日(水) 17 時

掲載記事

- 1 年次大会最終案内
- 12 書評 小池孝良

公開シンポジウム: 無料(大会とは別に事前登録が必要です。詳細は大会ウェブサイトをご覧ください)

大会ウェブサイト: <https://jaste31.hiroshima-u.ac.jp/index.html>

大会事務局:

〒739-8521 東広島市鏡山 1-7-1
広島大学大学院 統合生命科学研究科内 JASTE31 実行委員会
電子メール: jaste31@hiroshima-u.ac.jp
電話: 082-424-6513 (奥田敏統)

郵便局から郵便為替による送金:

口座番号: 01300-3-110802 口座名: JASTE31実行委員会
口座名(カナ): ジャステサンジュウイチジッコウイインカイ
※郵便局で青色の払込取扱票を使用して下さい。
※払込取扱票の通信欄に、必ず送金内訳(一般/学生の別)を記載して下さい。

銀行からの振込みによる送金:

銀行名: ゆうちょ銀行
店名: 一三九(イチサンキュウ)店(139) 口座種類: 当座 口座番号: 0110802
口座名(カナ): ジャステサンジュウイチジッコウイインカイ ※ 銀行送金の場合には、必ず振込時にメールで氏名, 送金内訳 (一般/学生の別)を実行委員会 < jaste31@hiroshima-u.ac.jp > に連絡してください。メールの件名は「送金内訳」としてください。メール送付に困難のある方は実行委員会までご相談ください。

一般発表に関する注意:

口頭発表

(発表者)

Zoom (<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>) を使って行います。Zoom ミーティングのリンク URL は大会事務局より事前にお送りします。ご自身の発表の 10 分以上前にリンク URL をクリックしてご入室ください。Zoom のアカウント登録 (<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>) およびアプリのインストール (https://zoom.us/download#client_iphone) を事前にお願ひします(挙手機能を使用するためにはアプリのインストールが必要となります)。講演者は画面を共有し、マイクとカメラをオンにして発表します。発表時間は 14 分 30 秒(発表 12 分・質疑 2 分 30 秒)です。プログラムのつつがない進行のため、指定された「口頭発表テスト」時間に必ず動作確認を行ってください。なお、念のため発表ファイルを 6 月 25 日(金)昼 12 時までに大会事務局までお送りください。今大会には外国人研究者も多く参加されることが予想されますので、発表資料に英語を併記するなど、非日本語話者にもご配慮いただけると幸いです。なお、発表者には次の発表の座長をして頂きますので、発表後も退席しないようお願いいたします。

(参加者)

大会事務局より事前にお送りする Zoom ミーティングのリンク URL をクリックしてご入室ください。Zoom のアカウント登録 (<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>) およびアプリのインストール (https://zoom.us/download#client_iphone) を事前にお願ひします(ブラウザでも参加できますが、挙手機能が使用できません)。質問時以外はマイクとカメラをオフにしてください。質問のある人は Zoom の挙手機能を利用して手を挙げてください。また、Zoom のチャット機能を利用して、質問することも可能です。チャットの宛先は「全員」を指定してください。

ポスター発表

(発表者)

LINC Biz (<https://getlincbiz.jp/pss/>) を使って行います。発表ファイルは JPEG などの画像ファイルや MP4 などの動画ファイルなど、最大 5 ファイルまでを推奨します。ファイルの合計サイズは 100MB 以内とします。発表者には、大会事務局より、発表チャンネルへのリンクをお送りしますので、6 月 26 日(土)の 9 時までに各チャンネルにポスターをアップロードしてください(なお、参加者はポスターをダウンロードできない設定になっています)。ポスター掲載が可能な期間は、6 月 19 日(土)から 6 月 30 日(水)までです。

コアタイムは、6 月 26 日(土)の 14 時 20 分~15 時 20 分です。発表者はコアタイム中、ご自身のチャンネルで待機し、質問などへの対応を行ってください。質疑応答はチャット機能を用いて行います。6 月 30

日の発表チャンネル閉鎖後は質疑応答の記録は残りませんので、必要な方はご自身でテキストデータをコピーするなどして、保存をお願い致します。

また、同日の 13 時から Zoom のルーム 1 にて、自身のポスター発表の内容を 2 分以内でご紹介いただくラピッドトークセッションを予定しておりますので、ぜひ 2 枚程度の発表スライドをご準備下さい。昼休憩時 (12 時～) にラピッドトーク用の接続テストを行いますので、発表者はルーム1にお集まりください。

今大会には外国人研究者も多く参加されることが予想されますので、発表資料に英語を併記するなど、非日本語話者にもご配慮いただけたら有難く存じます。

(参加者)

LINC Biz (<https://getlincbiz.jp/pss/>) を使って行います。参加者は大会事務局より事前にお送りする招待メールに従い LINK Biz に登録した後、LINC Biz ミーティングのリンク URL をクリックするとポスター発表一覧に移動し、そこから各ポスターのチャンネルへ移動できます (LINC Biz のサインアップを事前にお願ひします)。ポスターを閲覧し、チャット機能により発表者と質疑応答することができます。ポスター展示期間は 6 月 23 日 (水)～30 日 (水) です。ポスターをダウンロードすることはできません。コアタイムは、6 月 26 日 (土) の 14 時 20 分から 15 時 20 分です。発表者はコアタイム中、各チャンネルで待機し、質問などへの対応を行う予定です。質疑応答はチャット機能を用いて行います。

また、同日の 13 時から Zoom のルーム1にて、発表者にポスター発表の内容を 2 分以内でご紹介いただくラピッドトークセッションを予定しておりますので、こちらもぜひご参加ください。

優秀発表賞

優秀発表賞にエントリーされた発表については、匿名の選考委員が審査にあたり、大会終了後に授賞者本人 (原則として筆頭著者) 宛に通知し、学会ウェブサイトとニュースレターで発表します。授賞者には賞状が授与されます。

託児支援:

本大会では託児利用のサポートを、対象者が利用した託児料金の一部負担というかたちで行います。補助の対象は、**利用者の自宅周辺(シッター利用や保育園の一時保育、ファミリーサポート利用等)でも広く認めます**。希望される方は、以下の手順にしたがって申込手続きをしてください。

■対象日時・対象者

2021 年 6 月 25 日 (金): 編集委員会・評議会参加者を対象

2021 年 6 月 26 日 (土): 大会参加者 (発表の有無は不問) を対象

2021 年 6 月 27 日 (日): 大会参加者 (発表の有無は不問) を対象

* 連携学会からの参加者は対象外とさせていただきます。ご了承ください。

■託児補助額

お子さん 1 名につき、上限 5,000 円/日を補助します。

ただし、会員 1 人の上限額を 15,000 円/日とします。

申込数が想定を超えた場合は補助額が減額となる可能性があります。ご了承ください。

■申込方法

・ご利用を希望される方は、利用日 (大会当日でも可) までに大会事務局・託児担当 (四方: shikata.kagari.3s@kyoto-u.ac.jp) にご連絡ください。メールの件名は「JASTE31 託児補助希望 (利用者氏名)」とし、利用日とお子さんの人数を明記してください。

・補助金は、託児利用の内訳 (日付, 人数, 時間) がわかる領収書や利用明細等の信憑書類の提示と引き換えに、利用者の口座に大会後、振り込みます。

・申し込まれた方には、大会事務局・託児担当から折り返しメールにてご連絡し、手続きの詳細についてご説明します。

■託児補助に関する連絡先

大会事務局・託児担当

四方: shikata.kagari.3s@kyoto-u.ac.jp

The 31th Annual Meeting of the Japan Society of Tropical Ecology (JASTE31 Online Conference)

President of JASTE: KANZAKI Mamoru

Chairperson of Executive Committee: OKUDA Toshinori

Members of Executive Committee: YAMADA Toshihiro, HOSAKA Tetsuro, NAKABAYASHI Miyabi

LINC Biz: NAKAMURA Ryosuke

Day Nursery Service: SHIKATA Kagari, SASAKI Ayako

Best Presentation Awards: YONEDA Reiji

Host: Japan Society of Tropical Ecology

Collaboration with: Japan Society for Southeast Asian Studies, Japan Association for African Studies, Japanese Coral Reef Society, Japanese Society for Thai Studies, Japan Peatland Society, Japanese Society for Tropical Agriculture, Japan Society for Mangroves, Japan Society of Island Studies

Schedule:

June 25 (Fri) 2021, Council Meeting

June 26 (Sat) 2021, Oral Session, Poster Presentation Rapid Talk & Core Time, General Meeting, Kira Award Ceremony & Lecture

June 27 (Sun) 2021, Oral Session, Public Symposium

Participation Fee:

Registration Fee: Ordinary 6,000 yen; Student 3,000 yen Deadline for registration is 17:00 (Japan Time) 23 June (Wed) 2021.

Public Symposium: free (pre-registration is required)

Venue:

Online conference using Zoom and LINC Biz. We will use Room 1 and 2 in Breakout Rooms of Zoom for oral presentations and general meeting, etc. Besides these two rooms, around 10 rooms are always available during conference so that participants can freely use them for discussion with presenters and conversation with colleague and friends (please do not use Room 1 and 2 when presentations are ongoing). You may use Chat function of Zoom to contact a certain person in the conference.

Web Site: <https://jaste31.hiroshima-u.ac.jp/index.html>

Executive Committee:

JASTE31 Executive Committee, Graduate School of Integrated Sciences for Life, Hiroshima University, 1-7-1 Higashi-Hiroshima, 739-8521, Japan

E-mail: jaste31@hiroshima-u.ac.jp Phone: +81-82-424-6513 (T. Okuda)

Remittance of Participation Fee

I. Postal Savings Account for Remittance

Account Number: 01300-3-110802

• Account Name (Katakana): ジャステサンジュウイチジッコウイインカイ

• Account Name (Kanji): JASTE 3 1 実行委員

* Please use BLUE remittance slip (Denshin Haraikomi Seikyusyo: A4 paper) in Post office

* Please send an e-mail to JASTE31 Executive Committee (jaste31@hiroshima-u.ac.jp) with information about a breakdown of your remittance (i.e., Regular or Student /Remittance for Participation) (subject line: “breakdown of remittance”). If impossible, please contact JASTE31 Executive Committee.

II. Payment via PayPal

Participants from outside Japan can make a payment via PayPal by clicking “Buy Now” for JASTE31 registration fee on the website below

<https://www.jaste.website/gakkai>

Registration Fee: 60US\$

Presentation Guidelines:

Oral Presentation

For presenter,

Before the congress day

Oral Presentation will be held using Zoom (<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>). Please register/sign up

Zoom before the congress day. Presenters are required to download Zoom app

(https://zoom.us/download#client_iphone) to utilize the “hand raising function.” The Zoom link to access to the presentation system will be sent via email by the congress day.

On the congress day

Please click the link and enter the zoom presentation system at least 10 minutes before your presentation time.

Please share your screen, and turn on your microphone and camera.

The presentation time is 14 minutes and 30 seconds: 12 minutes for the presentation session and 2 minutes and 30 seconds for the Q & A session.

Please conduct an operation test at the designated time for proceeding the program smoothly.

Please send us (jaste31@hiroshima-u.ac.jp) your slides by 12:00 noon on 25th June (Fri) just in case.

We ask each presenter to be a chair of the next presentation, therefore, please do not leave the meeting room after your presentation.

For audience,

Zoom will be used for the oral session. Please register for a Zoom account on your own in advance

(<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>). You can join the oral session by clicking on the link URL, which will be sent via an e-mail. Please turn off the microphone and web-camera except when asking questions. If you

have any questions on the presentations, please use “hand raising function” to raise your hand, or use chat feature. Notice that you can use the “hand raising function” only when you download the Zoom app

(https://zoom.us/download#client_iphone). Please choose “to everyone” when you ask a question via chat.

Poster presentation

For presenter,

Before the congress day

Poster Presentation will be held using LINC Biz (<https://getlincbiz.jp/pss/>). We recommend using less than 5 image and video files for best results, though the limit for a total file upload is 100 MB.

The LINC Biz link to access to the presentation system will be sent via email by the congress day. After you receive the email, please upload your poster file by 9:00 on 26th June. Participants cannot download the uploaded files.

The poster uploading duration is from 19th (Sat) to 30th Jun (Wed).

On the congress day

The core time of each poster session is from 14:20 to 15:20 on 26th June (Sat). Please enter your session channel and answer each question/enquiry during the core time. The Q&A session will be conducted by chat feature. Please copy and save Q & A by yourself because we cannot access to your session channel after 30th June.

At 13:00-14:00 on the same day, we will also organize a “Rapid talk session” at Room 1 in Zoom, where poster presenters can briefly introduce your poster to audience with 1-2 slides within 2 minutes. We will test your presentation for Rapid talk at lunch time, so please access to Room 1 at 12:00.

For audience,

LINC Biz (<https://getlincbiz.jp/pss/>) will be used. You can register for the LINC Biz service through an invitation e-mail from the congress secretariat. After the registration, click the link URL to join the poster session website, where presentation channels are listed. You can browse each channel to ask questions and put your comments through chat function. The poster viewing duration is from 23rd (Wed) to 30th November (Wed). The core time of poster session is from 14:20 to 15:20 on 26th June (Sat). During the core time, presenters will stay at their session channel and answer to your questions immediately. Note that the uploaded posters cannot be downloaded.

At 13:00-14:00 on the same day, we will also organize a “Rapid talk session” with Zoom, where poster presenters will briefly introduce their posters to audience within 2 minutes.

Best Presentation Awards

Presentations registered for the award will be reviewed by anonymous referees. Winners will be informed after the meeting. The results will be announced in JASTE31 Web-Site and JASTE Newsletter. A certificate will be presented to the first-author of each winning paper from the President of JASTE.

Day Nursery Service

JASTE31 will be held as an online meeting. The conference will provide you with childcare assistance by reimbursing you the cost partially for those who are eligible.

Please contact the JASTE31 childcare staff (shikata.kagari.3s@kyoto-u.ac.jp) for details

【重要 Important!】

We, JASTE31 Executive Committee, sent emails to oral/poster presenters and to each inquiry, but in some cases, our emails (domain name: @hiroshima-u.ac.jp) were sent to spam mail folders.

Therefore, if you have registered for JASTE31, please check your spam folders as needed.

To oral/poster presenters

We are very sorry to inform you of this but please check your spam folders if you have not received a confirmation email from us at 11am on 15th May 2021.

JASTE31に発表登録やご質問をいただいた方々に本大会実行委員会からメール(ドメイン名:@hiroshima-u.ac.jp)をお送りしましたが、迷惑メールフォルダに振り分けられる案件が発生しています。

お手数をおかけして大変恐縮ですが、発表をご登録いただいた方で2021年5月15日11時台に実行委員会からメールを受け取っておられない方は、迷惑メールフォルダをご確認いただけますか。

参加をご希望の皆様は、随時迷惑メールフォルダをご確認いただきますようお願い申し上げます。

日程表 Schedule Table

日時 Date and Time	口頭発表 Zoom Oral Presentation		ポスター発表 LINC Biz Poster Presentation	公開シンポジウム Zoom Webinar Public Symposium	
	ルーム1 Room 1	ルーム2 Room 2			
6月26日(土) June 26 (Sat)	8:15~8:45 口頭発表テスト Oral Presentation Test		ポスター展示 Poster Viewing		
	9:00~9:15 開会の挨拶. 大会の概要説明 Opening Remarks, Brief overview				
	9:15~12:00 口頭発表 Oral Presentation				
	12:00~13:00 昼休憩・ラピッドトーク発表テスト Lunch Break, Rapid Talk Presentation Test				
	13:00~14:00 ポスター発表ラピッドトーク Rapid Talk of Poster Presentation				
	14:00~14:10 ポスター発表の参加方法説明 Instruction for participation in poster presentation				
					14:20~15:20 ポスター発表コアタイム Poster Core Time
	15:30~18:00 総会・吉良賞授与式・受賞記念講 演会 General Meeting, Kira Awarding Ceremony & Lecture				ポスター展示 Poster Viewing
	18:00~20:00 フリーディスカッション(ブレイクアウトルーム) Free Discussion at Breakout Rooms				
6月27日(日) June 27 (Sun)	8:15~8:45 口頭発表テスト Oral Presentation Test		ポスター展示 Poster Viewing		
	9:00~12:00 口頭発表 Oral Presentation				
	12:00~13:00 昼食 Lunch Break				
					13:00~16:30 公開シンポジウム Public Symposium

口頭発表プログラム Oral Presentation:

2021年6月26日(土) June 26 (Sat), 2021 9:15-12:00

口頭発表テスト:各ルームで 8:15-8:45 の間に済ませてください。

Testing your presentation in Zoom between 8:15-8:45 at each room.

時間 Time	Zoom ルーム1 Room 1 in Zoom		時間 Time	Zoom ルーム2 Room 2 in Zoom	
	番号 No.	著者・題名 Authors, Title		番号 No.	著者・題名 Authors, Title
8:15-8:45	口頭発表テスト Oral Presentation Test				
9:15-9:30	A01	根津郁実ら Eucalyptus camaldulensis における組織学的性質の半径方向変動からみた二次木部の成熟過程	9:15-9:30	B01	大橋麻里子 氾濫で沈んだキャッサバの収穫—ペルーアマゾン、河と共に生きるシビボ
9:30-9:45	A02	木原友美ら 西表島におけるマングローブ (Bruguiera gymnorhiza) の細根呼吸量の測定	9:30-9:45	B02	原 将也ら 群馬県におけるキャッサバ栽培の試み—冬季の苗木管理に着目して
9:45-10:00	A03	佐藤 保ら マレーシア低地フタバガキ林の26年間にわたる地上部現存量の変動について	9:45-10:00	B03	藤澤奈都穂 奄美諸島におけるコーヒー栽培の拡大に向けた取組みと、その課題と可能性
10:00-10:15	A04	Rempei Suwa, Sahadev Sharma Blue Carbon Researches on Mangroves in Asian Regions to achieve SDGs	10:00-10:15	B04	生駒美樹 (連携発表: 東南アジア学会) チャと人との共生—ミャンマー—シャン州ナムサン郡の茶生産を事例に (仮)
10:15-10:30	A05	Analuddin et al. (Collaborative Presentation: Japan Society for Mangroves, Japan Society for Southeast Asian Studies) Ecosystem function of mangroves as blue carbon source and biofilter of heavy metals pollutant in Southeast Sulawesi Indonesia, a center of coral triangle area	10:15-10:30	B05	砂野 唯 (連携発表: 日本アフリカ学会、日本熱帯農業学会) 食品と嗜好品の境界—エチオピアやネパールの酒を食べる人びとを事例として—
10:30-10:45	A06	Sahadev Sharma et al. Stand structure, blue carbon stock and dynamics of naturally regenerated and restored mangrove forests	10:30-10:45	B06	小坂康之ら ラオスにおける水田植物のドメスティケーションの可能性
10:45-11:00	A07	Mohammad Shamim Hasan Mandal et al. Does spatial pattern of tropical cyclone disturbance affect distribution of major mangroves in the Sundarbans?	10:45-11:00	B07	Wataru Yamamoto et al. Incorporating Native Species in Smallholders' Acacia Plantations: A case study from NorthWest, Vietnam
11:00-11:15	A08	Sumonta Kumar Paul et al. Effect of temperature on physiological traits of Kandelia obovata in Japan : a preliminary survey in Okinawa and Kagoshima	11:00-11:15	B08	Thel Phyu Phyu Soe et al. (Collaborative Presentation : Japanese Society for Tropical Agriculture) Mapping floating gardens in Inthas Villages of the Inle Lake with special reference to local unit "alan"
11:15-11:30	A09	Masaya Yoshikai Modeling mangrove biomass dynamics influenced by substrate, climate conditions, and tree competition	11:15-11:30	B09	Virana Sonnasinh et al. Park and livelihood : the case study of park's residency in Nakai Namtheun National Park in Lao PDR
11:30-11:45	A10	Agus Ngadianto et al. Core wood and outer wood in three fast-growing tree species grown in community forests in Yogyakarta, Indonesia	11:30-11:45	B10	Md. Habibur Rahman Contribution of Non-Timber Forest Products to the Livelihoods of the Forest-Dependent Communities around Khadimanagar National Park in Northeastern Bangladesh
11:45-12:00	A11	Truong Thi Anh Tuyet Invasive native vines: risks and management gaps in Vietnam	11:45-12:00	B11	Cahyo Wisnu Rubiyanto Transitions and Diversification in Livelihood Strategy of Montane People under Chinese and Vietnamese influence in Northern Laos

2021年6月27日(日) June 27 (Sun), 2021 9:00-12:00

口頭発表テスト:各ルームで 8:15-8:45 の間に済ませてください.

Testing your presentation in Zoom between 8:15-8:45 at each room.

時間 Time	Zoom ルーム1 Room 1 in Zoom		Zoom ルーム2 Room 2 in Zoom	
	番号 No.	著者・題名 Authors, Title	番号 No.	著者・題名 Authors, Title
8:15-8:45	口頭発表テスト Oral Presentation Test			
9:00-9:15	A12	早坂 洋史(連携発表:日本泥炭地学会) 中央カリマンタンの泥炭地での泥炭火災と大気汚染	B12	安松弘毅 対中関係の深化するラオスにおけるラン科植物の分布と利用
9:15-9:30	A13	中林雅ら ボルネオ島の同所性食肉目の時間的棲み分け	B13	藤川和美ら(連携発表:日本熱帯農業学会) ミャンマーにおける林産資源利用(1) 伝承薬について
9:30-9:45	A14	佐藤宏樹 大型散布体植物における動物種子散布の意義:マダガスカル産 2 樹種における実生定着モニタリングからの考察	B14	原田一宏、グルンラタン 落葉採集林に関する森林・土地政策は地域住民の慣習的な管理・利用を変えたのかーブータン・プナカ県の事例より
9:45-10:00	A15	Prapawadee Nutiprapun et al. Taxonomic and phylogenetic diversity of seedlings in seasonal and non-seasonal tropical forests in Southeast Asia	B15	Soukphavanh Sawathvong et al. Stakeholder participation in REDD+ program: the case of consultation process in Lao PDR
10:00-10:15	A16	Alvin Lau et al. Forest canopy height mapping from low cost UAV	B16	Hoang Phan Bich Ngoc Participation of local people in decision making for Payment for Forest Environmental Services in Central Vietnam
10:15-10:30	A17	Kazuki Miyamoto et al. Distribution characteristics of pioneer tree species in selectively logged forests in Borneo	B17	Win Min Paing et al. The Emergence of Neoliberal Forest Policy in Myanmar after 1990s: A Review
10:30-10:45	A18	Bibian Diway and Yayoi Takeuchi Discovery of Rafflesia, the world biggest flower, at Naha Jaley, Sarawak, Malaysia: towards in situ and ex situ conservation	B18	Thiri Hmwe Maung Maung Research Trend of Community Forestry in Myanmar
10:45-11:00	A19	小笠原実里ら ブルネイにおける Shorea albida 集団の遺伝的変異パターンの評価	B19	Adhikari Sudha, Harada Kazuhiro Scientific Forest Management Practices in the community forest of Nepal
11:00-11:15	A20	Akira Itoh et al. Potential for interspecific hybridization in tropical rainforest trees and its evolutionary implications	B20	Chanthaxay Bounhom et al. Behavior of smallholder pig producers in Lao PDR
11:15-11:30	A21	Yidan Fan et al. Using social media data to understand tourists' preferences for nature-based tourism in global tropical rainforests	B21	Imam Budiman et al. The Customary Land Tenure System and Legal Pluralism in Indonesia: A case of Mutis Forest in East Nusa Tenggara Province
11:30-11:45	A22	Dwi Sukma Rini et al. Geographic variations of physical and mechanical properties in three bamboo species naturally grown in Lombok Island, Indonesia	B22	Triska Syattwa Wisnu Wardana et al. The Roles of Customary Councils in Traditional Agroforest Practice of Repong Damar: Case study of Penengahan Village, West Pesisir Regency Lampung, Indonesia
11:45-12:00			B23	Zaw Myo Aung et al. Impacts of collective relocation due to hydropower development on local people's livelihoods: A Case of Upper Paunglaung Hydropower Project in the Shan State of Myanmar

ポスター発表 Poster Presentation:

ポスター掲示および発表は LINC Biz でおこないます。ラピッドトークは6月26日の13時00分から Zoom のルーム1でおこないます。Poster exhibition and Core Time are held in LINC Biz, and Rapid Talk is held at room 1 in Zoom from 13:00 on June 26.

2021年6月23日(水)~6月30日(水) June 23 (Wed) – June 30 (Wed)

ポスター展示 Poster Exhibition: **LINC Biz**

2021年6月26日(土) June 26 (Sat)

ラピッドトーク発表テスト Rapid Talk Presentation Test 12:00~13:00 : **Zoom Room1**

ラピッドトーク Rapid Talk 13:00~14:00 : **Zoom Room1**

ポスター発表の参加方法 Instruction for participation in poster presentation 14:00~14:10 : **Zoom Room1**

コアタイム Coretime 14:20~15:20 : **LINC Biz**

ポスター展示 LINC Biz Poster Exhibition in LINC Biz ラピッドトーク Zoom ルーム1 Rapid Talk at Room 1 in Zoom	
番号 No.	著者・題名 Authors, Title
P01	田中憲蔵 ボルネオ熱帯雨林における様々な樹種の樹高と葉の形質の関係
P02	河合清定ら 機能形質は種の分布標高を予測するか? ; 乾燥熱帯と湿潤熱帯におけるブナ科の例
P03	檜本正明ら タイ・サケラートの異なる森林の土壌呼吸における土壌水分の影響
P04	Ling Chea-Yiing Mycoheterotrophic plants from Heart of Borneo Scientific Expedition in Sarawak
P05	Yayoi Takeuchi et al. Biodiversity in a forest fragmented landscape in Sarawak, Malaysia
P06	門田有佳子ら 林分動態と樹洞からみた <i>Shorea albida</i> と <i>Combretocarpus rotundatus</i> の生存戦略の違い
P07	Ryousuke Nakamura et al. Diversity of leaf silicon accumulation and its contribution to silicon flux via leaf litter in Panamanian lowland forests
P08	Taiki Mori et al. Effects of long-term phosphorus addition on the ratio of phosphomonoesterase to phosphodiesterase in three tropical forests
P09	竹重 龍一 ボルネオ島における伐採後熱帯二次林のバイオマス回復速度に及ぼす密集性マント群落の影響
P10	奥野聖也ら 植生タイプが異なる東南アジア熱帯雨林の系統多様性の比較
P11	目黒伸一ら 東アフリカ赤道直下における山地林の種組成について
P12	大出亜矢子、田中勝千(連携発表: 日本泥炭地学会) マルチスペクトルセンサを用いた湿原植生の分類法の提案
P13	Nuttatida Thongyoi et al. Preliminary report on plastic pollution in Manko mangrove forest, Okinawa
P14	北村俊平, Pilai Poonswad 人為的撓乱に強い小型種キタカササギサイチョウは大型種の種子散布を代替できるのか?
P15	Maho Kasori et al. The peatland conservation policy and its unequalizing effect on peat community
P16	安藤和雄 ジャガイモ栽培にみるベンガルデルタ農業の奇跡
P17	Su Myat Mon, Toshinori Okuda Domestic illegal logging at the state-owned Reserved Forest: A case in Southern Shan State, Myanmar
P18	Wei Chuang Chew et al. A Case Study: Land Use Condition Before and After Establishment of Community Forests in The Taunggya Village, Myanmar
P19	古橋牧子 現代における栽培植物の成立過程—ラオスにおける異なる形質をもつドクダミの事例—
P20	四方篤ら カメルーン東南部における NTFPs の利用・販売と地域住民の生計(仮)
P21	Satoshi Oppata et al. Hydrogel and biochar application using clay pot irrigation for water saving agriculture: A trial in Kampong Chhnang, Cambodia
P22	石塚森吉、倉本潤季 ミャンマーにおける草ぼうぎのサプライチェーンと近年の輸出動向

公開シンポジウム Public Symposium (in Japanese)

「サプライチェーンと熱帯林保全」

日時: 2021年6月27日(日) 13:00~16:30

会場: Zoom ウェビナーを用いたオンライン配信を予定(参加者は大会とは別に事前登録が必要です。詳細は大会ウェブサイトをご覧ください)

趣旨:

内容: 途上国と言われる地域の森林保全には、温室効果ガス削減の視点から REDD+などのトップダウン型インセンティブメカニズムが定着しつつあるが、その一方で、熱帯農産物の調達元~流通までのサプライチェーンマネージメントも生態系全体の荒廃抑止力として注目を集めている。この背景には、農産物生産の「在り方」が森林資源や周辺生態系保全・管理に大きく影響を与える—という視点が挙げられる。農産物の生産・流通プロセスの透明化およびその過程で発生する CO2 削減努力などが、企業コンプライアンスとして定着し、森林を含む調達元の環境への配慮姿勢が企業価値そのものとして問われるようになったこともその背景の一つである。そこで、本シンポジウムでは、まず、熱帯農産物に係るサプライチェーンの現状について、企業の取り組みについて紹介を頂き、そのうえで、これまでの森林減少・劣化抑止プログラムも含めた生態系保全の立場から、意見交換をする場としたい。また、こうした取り組みと議論の場が、「遙かなる熱帯林」から、「身近な熱帯林」へと、世の中への関心を引き寄せる機会となり、環境教育などへの波及効果となることを期待したい。

プログラム:

発表者(所属)	タイトル	時間
1. 奥田敏統(広島大学)	趣旨説明	13:00~13:10
2. 浦口あや(コンサベーション・インターナショナル・ジャパン)	森林保全をコミュニティ開発に組み込む	13:10~13:40
3. 若林茜(スターバックス コーヒー ジャパン)	人と想いがつなぐサステナブルなコーヒー	13:40~14:10
4. 金子洋平(花王株式会社)	花王の環境への取り組み「パーム油を中心に」	14:10~14:40
休憩		14:40~14:50
5. 矢崎慎介(兼松株式会社)	インドネシアにおける森林保全事業—カーボンニュートラルへの貢献—	14:50~15:20
6. 寺内大左(筑波大学)	地域研究から問う市場インセンティブを利用した熱帯林保全	15:20~15:50
7. パネルディスカッション	登壇者	15:50~16:20
8. 神崎護(日本熱帯生態学会 会長)	コメント・挨拶	16:20~16:30

書評

森林科学シリーズ2 森のつくられかた—移りゆく人間と自然のハイブリッド—

生方史数 編. 2021年. 252pp. 共立出版(価格: 3,300円+税, ISBN 9784320058187)

Book review. Forest in the making: Changing phases of human-nature hybrid (Series in Forest Science 2) By UBUKATA Fumikazu (Ed). 2021. Kyoritsu Shuppan Co., Ltd., 252pp.

小池孝良(北海道大学大学院農学研究院)

KOIKE Takayoshi (Research Faculty of Agriculture, Hokkaido University)

まず、タイトルに惹かれた。私の専門とする「森の造り方」ではなく「森のつくられかた」には、それだけで、手に取ってしまう魅力がある。タイトルからは、社会的な内容を想像し、自ら難澁を極めて講じてきた、北海道大学の森林美学と同じ“匂い”を感じた。森林美学では、哲学者・詩人であるゲーテの言葉、「私は自然と交わることが好きだ。なぜなら自然は常に正しく、あやまりは、人間の側にある」を紹介して来た。同等の役割を、編者の生方氏の“はじめに”にある「未来に向けた森林の見取り図がどうあるべきか、森林と人間の関係をどのように(再)構築していけばよいのかを着想する」契機を与えていることが、構成から読み取ることが出来る。そして、「口絵と質問」が本書の要点を示している、とだけ紹介しておきたい。

この口絵と本書の主張は第1章に凝集されている。「人間と自然を明確に分ける2元論的に分けるやり方」では、今後の人間と自然の関係、自然の影響を受け続ける社会や人間の関係解明には限界のあることを示した。このために、森林を人間と自然の作り出してきた「ハイブリッド」として捉える見方を提唱している。社会科学では身近な視点であるというが、キーワードとしての「まなざし」は、風景・景色・景観を理解する森林風致学(森林美学)と共通である。例として、水田を米の生産工場と呼び、都会をアスファルト・ジャングルという、自然とも人工とも分けづらい例を挙げている。これらは、どちらも風景であり、突き詰めると、森林を含めた風景を見る目は、古くは田村剛(国立公園の祖)のいう「風景は見る人の知識によって変わる」と、私は理解している。

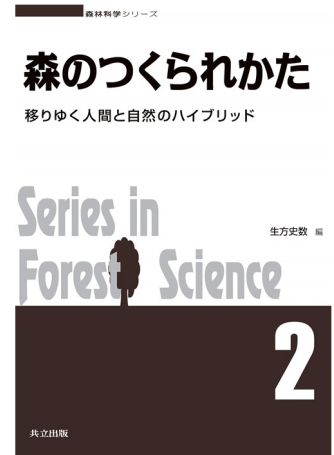
具体的対象が東南アジアに置かれているが、それは、近代以降の「人間の自然への働きかけ」とその矛盾を認識しやすい場所として注目した結果であるという。そして、本書の理解のためには、「社会構成主義」の理解が必須であり、生方氏の導入が、本書の核になっている。この概念は、森林美学の理解のために勧めてきた、鬼頭秀一氏の著書「自然保護を問いなおす」にある「切り身の自然」と「生身の自然」の概念

に通じる。従って、本書を読み進めるためには、1.2(自然の社会的構成とその批判)を熟読し、1.3にある(枠組みと構成)へと読み進める必要がある。出版社の宣伝文自体、私には難解であった。本書の正確な理解を概念的に捉えるためには、第2章、「口絵の理解の仕方の手引き」を読み、口絵を適宜眺めることで、編著の思考の一端を理解できると感じた。

ここで、森林の定義が登場する。かつて、温暖化防止に関する京都議定書のなかで、カーボン・オフセット(二酸化炭素の排出と森林の吸収・固定によって相殺)を解釈する際に一番面食らったのは、この森林の定義であった。本書がその時にあったなら、と思う。途上国と先進国における森林の定義の比較の図(2.2)が、口絵の意図するところを雄弁に語っている。事例としてはタイ国が取り上げられている。小林氏のコラムでは、仏教徒が大半を占めるカンボジアでの自然への畏敬を「森林とつながる文化」として紹介している。

本書はこれまでに述べた2章に加え、3章のタイトルは「森の彼方を見る」として、日本の景観の史的変遷を紹介する中で、森林へのまなざしを論じている。ここでは、北海道を除く明治維新以降の風景の激変、戊申詔書による、国力を森林生産力に頼る国策によって里山から造り替えられた針葉樹林への転換にも注目して欲しかった。ナチス・ドイツが手本にしたかのような森林改変の政策は、今もその痕跡が残っている。

ラオス(4章;百村氏)、マレーシア・サバ州(6章;内藤・生方氏)、インドネシア(7章;生方・内藤氏)を舞台にした調査研究の報告からは、現地の熱気が伝わり著者の取り組みと熱意が記されている。各章をみるとラオスからの報告では、ラオスと日本における領域化



とその課題を両国の比較社会学として紹介している。5章は、科学的林業・森林管理とその現地化として、造林系に従事してきた者としては、耳の痛い記述にあふれている(図 5.4 に収斂)。学部時代の講義で拝聴した半田良一先生の森林経営学の鋭い切り口を思い出した。いわゆる経済学の概念では扱いきれない森林管理の本質を聞いた時に感じた一種の爽快感を諸氏も味わっていただきたい。6章の置かれた位置づけは、5章でも論じた宗主国の”近代的森林管理”＝プランテーション造りの功罪および制度設計の作成者と地元住民との絶え間ない調和の模索の軌跡を記している。7章は、背景と思われるメガ・ライスプロジェクト(アジアの食料基地を目指した)における為政者の野心と失敗、その修復を支援する周辺国の流れを読み取る必要を感じる。

最終章へ向かう8章(生方・百村氏)では、ベトナムも対象に、REDD+ (森林に新たな価値を見出し[商品化]する制度)の実践例を図 8.1 と 8.2 で紹介し、非常に難しい森林(単に木材生産ではない多機能を備えた生態系)の扱いへの生方・百村氏の挑戦が記されている。続くコラムでは、放射能汚染に曝された森・恵・海の資源への考えが満田氏によって述べられている。主張が「さとやま」の復興であると思われるが、放射能汚染域への向かい方という内容は本書の全体趣旨とはやや異なる視点がある。最終の9章(生方氏)

では、表 9.1 に主張が要領よくまとめられており、「共創」の言葉で締めくくられている。

森林は人間による改変を最も受け続けた「自然」であり、特に、産業革命以来影響力を強めてきた人間による自然の征服と改変は、選ばれし者としてのキリスト教信者の基本としての選民思想を感じた。一方、陳腐な考えであろうが、“自然征服が基本の西洋思想”と、“東洋では、己の悟りを希求する仏教の影響が深く、自然との調和を求める自然感”のはざまでゆれる。マレーシア・サラワク州でイバン族のロングハウスに住みこんで現地調査を続けた若い同僚達の姿が思い出される。

森林管理の中で過度な自然利用が、人間の生存自体を脅かしている。それは地球規模の気候変動をはじめとする地球のさまざまな「変調」へとつながる。1990年以來、極東ロシアでの永久凍土地帯での調査に従事してきた自らの体験で学んだこと、いわば、森林と凍土の微妙なバランスの保全を戒めてきたヤクート住民の言葉、「1つのアラスに1人の人間が暮らす、という摂理」を思いつつ読み進めてきた。自然のみでなく、人間によってもつくられる自然と人工の混成物(ハイブリッド)として森林をとらえる見方は、特に、微妙な均衡のうえに成り立つ熱帯林の扱いを学び、伝えるための手引きであり、本書を会員諸氏に伝えたい。

編集後記



職場のシラカシの根元では、この時期、ギンリョウソウを見ることができます。菌従属栄養の植物の中では知名度が高い種ですが、山奥の植物と勘違いしているのか、キャンパス内で見られることを講義中に紹介するとちょっと驚いた顔をする学生が見られます。昨年はコロナの休校期間中に開花しており、学生たちは見ることはできませんでした。今年は少しでも本物の姿を見てもらえることを期待しています。

写真: 石川県立大学キャンパスで開花したギンリョウソウ(2021年5月11日撮影)。

ニューズレターへの投稿は、編集事務局: 北村(shumpei@ishikawa-pu.ac.jp)・百村(hyaku@agr.kyushu-u.ac.jp)へ。

日本熱帯生態学会事務局

〒739-8529
広島県東広島市鏡山 1-5-1
広島大学大学院先進理工系科学研究科
Tel & Fax: 082-424-6929
E-mail: jaste.adm@gmail.com

The Japan Society of Tropical Ecology

Graduate School of Advanced Science and
Engineering, Hiroshima University
1-5-1 Kagamiyama, Higashi-Hiroshima, Hiroshima
739-8529, Japan
Tel & Fax: +81-82-424-6929
E-mail: jaste.adm@gmail.com

日本熱帯生態学会ニューズレター 123号

編集 日本熱帯生態学会編集委員会
NL 担当: 北村俊平(石川県立大学)
百村帝彦(九州大学)

NL 編集事務局

〒921-8836 石川県野々市市末松 1 丁目 308 番地
石川県立大学 生物資源環境学部
環境科学科 植物生態学分野 (C210)
電話: 076-227-7478, FAX: 076-227-7410 (代表)

発行日 2021年5月25日
印刷 創文印刷工業株式会社 電話 03-3893-0111
